病気を知るミニブック

mitsuba

みつば



悪性リンパ腫を知ろう。

MINI BOOK SERIES 14

独立行政法人 国立病院機構
大阪医療センター

MINI BOOK SERIES 14

悪性リンパ腫を知ろう。

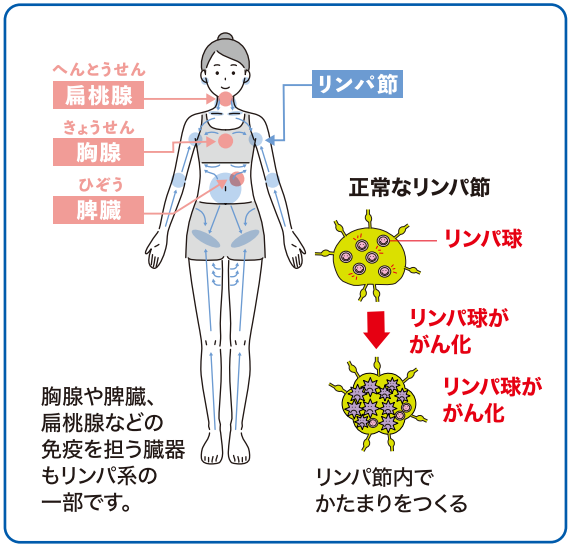
腫れ・しこりに気づいたら早めの受診

「悪性リンパ腫」って、どんな病気？

悪性リンパ腫は、白血球の一種であるリンパ球ががん化して増殖する、血液がんのひとつです。リンパ球は全身に存在するため、体のさまざまな部位に発生しますが、リンパ節にできやすく、首やわきの下、足のつけ根などに腫れやしこりができることがあります。
悪性リンパ腫には80種類以上のタイプがあり、進行の速さや性質はそれぞれ異なるため、正確な診断とタイプに合った治療が大切です。

主な初期症状

- リンパ節（首、わきの下、足の付け根）の腫れ・しこり
- 胸部や腹部の圧迫感
- 原因不明の発熱





体の表面のリンパ節の腫れ

痛みのないしこり

- 首
- わきの下
- 足の付け根（鼠蹊部（そけいぶ））

など



胸やお腹の中のリンパ節の腫れ

症状が急激に進行すると、

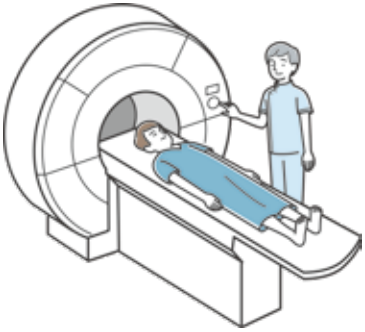
- 気道閉塞
- 血管閉塞
- 脊椎圧迫

などを認めることがあります

どんな検査や治療があるの？

検査

悪性リンパ腫が疑われる場合は、リンパ節などの組織の一部を採取して調べる生検を行います。診断後は、PETやCT、MRIなどの検査で病気の広がりを調べます。



治療

治療内容は、悪性リンパ腫のタイプや進行度、年齢、全身状態などを考慮して決定します。治療の中心は薬物療法で、抗がん剤やがん細胞を狙って作用する薬などを用います。病状に応じて放射線治療を組み合わせることもあります。治療は入院で行うこともありますが、通院しながら受けられる場合もあります。



早期発見のためにセルフチェックを！

今のところ、悪性リンパ腫の予防法は確立されていません。そのため、早期発見には、入浴時などに自分の体を触るセルフチェックが重要です。リンパ節の腫れやしこりが続く場合は注意が必要です。また、原因不明の発熱や体重減少、寝汗などが続く場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

Doctor's Voice

血液内科 科長　柴山 浩彦



「血液のがん」と聞くと、不安を感じる方も多いかもしれません。しかし、悪性リンパ腫の治療は進歩しており、治療を受けながら日常生活を続けられる場合もあります。一方で、長期的な治療が必要となることもあります。不安や疑問は一人で抱え込まず、医師や医療スタッフに相談しながら、納得のいく治療を進めていきましょう。

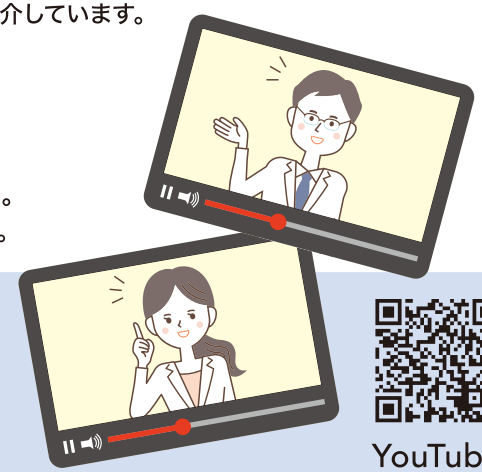
動画で知る！大阪医療センターの診療科

当院ホームページより診療科紹介動画をご覧いただけます

各診療科の特色や診療内容について、動画でわかりやすくご紹介しています。

「どんな治療方針、診療内容なのか知りたい！」
「どんな先生やスタッフが対応してくれるのかな？」
「治療や診断に使用する設備が気になる」

など、病院選びや受診前の情報収集にも、ぜひご活用ください。
診療科紹介動画は、各診療科のトップページに掲載しています。



公式YouTubeチャンネルでも公開中！▶

診療科紹介動画を一覧でご覧いただけます。
WEB市民公開講座も定期配信しています。

YouTube

大阪医療センターへのアクセス

▶ 公共交通機関をご利用の場合

- Osaka Metro（大阪メトロ）
  中央線・谷町線「谷町四丁目」駅11号出口すぐ
- 大阪シティバス 62系統
  大阪駅 ⇔ 住吉車庫前「国立病院大阪医療センター」下車

▶ お車でお越しの場合

- 阪神高速（東大阪線・東行き）：「法円坂ランプ」出口すぐ 上町筋を右折
- 一般道：上町筋と中央大通りとの交差点南西角



独立行政法人 国立病院機構 大阪医療センター
NATIONAL HOSPITAL ORGANIZATION OSAKA NATIONAL HOSPITAL

住 所 〒540-0006 大阪市中央区法円坂2-1-14

休診日 土曜日・日曜日・祝祭日 年末年始（12月29日～1月3日）
代表電話番号 06-6942-1331
再診予約番号 06-6946-3519（受付：平日午後1時～4時）